

「光」は、生命を生み出した。
「生命」は、生と死のはざまを、渚のようにただよう。
そして、「風」は、生命を死へとつなげていく。

大重 潤一郎 監督作品 長篇記録映画

『久高オデッセイ 第三部・風章』

文部科学省選定



写真提供 高橋あい

シンポジウム 『久高オデッセイ 第三部・風章』と大重映画が問いかけるもの

講師：高木 慶子（上智大学グリーンケア研究所特任所長、「生と死を考える会」全国協議会会長）
島 進（上智大学グリーンケア研究所所長、東京大学名誉教授）
鎌田 東二（京都大学こころの未来研究センター教授、『久高オデッセイ 第三部・風章』制作実行委員会副実行委員長）

日時：2015年10月3日（土）

開場 13:30
開演 第一部 上映会 14:00
第二部 シンポジウム 16:00

主催：上智大学グリーンケア研究所

料金：1,000円（要予約 予約方法は裏面をご覧ください）

会場：上智大学大阪サテライトキャンパス

大阪市北区豊崎3-12-8 サクラファミリア2階

【電話】06-6450-8741【FAX】06-6450-8742

大阪市営地下鉄「中津駅」4番出口より徒歩2分

阪急「梅田駅」茶屋町口より徒歩4分

JR「大阪駅」御堂筋北口より徒歩10分

『久高オデッセイ 第三部・風章』 2015年/カラー/95分

監督 大重 潤一郎 製作 鎌田 東二 音楽 新実 徳英 語り 鶴田 真由
助監督 比嘉 真人 / 演出助手 高橋 あい / 撮影 堀田 泰寛 / 録音 市川 文武
写真 比嘉 康雄 / 制作 沖縄映像文化研究所 「久高オデッセイ第三部・風章」制作実行委員会
制作協力 NPO法人 東京自由大学 岡野 恵美子 山田 宏道

『久高オデッセイ』について

『久高オデッセイ』の舞台である沖縄・久高島は、沖縄本島の東海上に浮かぶ人口200人ほどの小さな島であるが、魂の原郷、あるいは神の島として崇められてきた。久高島は、琉球の創世神アマミキヨが天からこの島に降りてきて国づくりを始めた地、人の魂の戻る場所そして再生する場所であるニラーハーラー（ニライカナイ）に繋がる琉球神話の聖地である。久高島の名が広く知られているのは、ひとえに「イザイホー」の祭りの所以であるが、12年に一度の「イザイホー」の祭りは、神女となる後継者の不足により1978年を最後に途絶えてしまっている。

『久高オデッセイ』は、2002年から2014年までの12年間におよぶ久高島の姿を「第一部・結章」、「第二部・生章」そして「第三部・風章」の三部作で捉えた長編記録映画である。

シンポジウム

『久高オデッセイ 第三部・風章』と大重映画が問いかけるもの

鎌田 東二、島蘭 進、高木 慶子

※四谷キャンパスからの中継配信となります。

大重監督は、『久高オデッセイ 第三部・風章』において、久高島の自然と人々の営みをとおして、古代から受け継がれて来た死生観、精神文化を見事に捉えている。いのちを生み出す大いなる存在への畏怖畏敬の念と愛惜の情、生と死の意味、心の平安、そして信仰・・・多くのスピリチュアルな問いかけを我々に投げかけている。『久高オデッセイ』の制作にかかわり、あるいは大重監督と親交のある3名が『久高オデッセイ』について語る。



上智大学大阪サテライトキャンパス

〒531-0072

大阪市北区豊崎3-12-8 サクラファミリア 2階

【電話】06-6450-8741

【FAX】06-6450-8742

【メール】osaka_sc@cl.sophia.ac.jp

【開室時間】平日10:00~18:00

【アクセス】

大阪市営地下鉄「中津駅」4番出口より徒歩2分

阪急「梅田駅」茶屋町口より徒歩4分

JR「大阪駅」御堂筋北口より徒歩10分

申込方法

10月3日「久高オデッセイ」上映会申込とし①お名前（ヨミガナ）②参加人数③電話番号を電話、FAX、mailにてお申込みください。

申込締め切りは10月1日（木）です。締め切り前でも定員に達し次第、申込を締め切らせていただきます。

参加料（おひとり様1,000円）は当日受付にてお支払いいただきます。釣銭の無いようご注意ください。